

かまにし

第98号

発行 地域力推進蒲田西地区委員会
編集 地域情報紙編集委員会

「存じですか？」 国際都市おおた大使



フェルナンダさん

国際都市おおた大使として活躍中のお二人フェルナンダさん、パンタさんをご紹介します。

氏名：Lunardi Machado Maria

Fernanda

ルナルデイ・マツシヤド・マリ
ア・フェルナンダさん

出身国・地域：ブラジル

日本在住歴：三年目

職業：学生

Q 来日の動機はなんですか？

A 幼い頃から母国ブラジルでは日本のアニメが大人気で良く観ていました。この国が大好きになり「いつかみたい」と思うようになりました。日本のアニメ制作を学びたいので、来日してまず一年間外国語学校で日本語を学びました。その後、日本工学院アニメーション科に入学してアニメ制作を学びました。将来の夢はアニメーターです。

Q 好きなアニメは？

A 「ナルト」、「セーラームーン」、「名探偵コナン」です。

Q 日本に来て大変だった事はなんですか？

A 来日して学校に通っていても、最初はあまり親しい友達は出来ませんでした。その後、アルバイト先で出会った仲間達と親しくなり段々友人が出来てきて日本語での会話もなれてきました。その友人達と食べ歩き等をしてこの国への理解と親密度が深まり更に日本の事が大好きになりました。

Q 好きな食べ物は何ですか？

A マテ茶、チャイなど。母国ブラジルでは日本人が昔から多く住んでいました。来日した頃は日本の寿司は苦手で食べられませんでした。今は好物です。蒲田には美味しい餃子やラーメンのお店がたくさんあるので、よく食べ歩きをしたり、新しいお店を探したりして楽しんでいきます。

Q 多摩川や近くの公園も好きで、特に天気の良い日は多摩川沿いを散歩したり、友達とピクニックをしたりするのが大好きです。これからも日本で暮らしていきたいです。

氏名：Panta Kashinath

出身：ネパール

日本在住歴：十四年

職業：企業経営者

パンタ カシナトさん

Q 現在の仕事はなんですか？
A IT関連並びに外国籍人材の定着支援業務をしています。更にボランティアとして外国籍人材の生活の質のサポートをしています。その傍ら国際都市おおた大使としても活動しており、大田区の魅力や情報、自国文化の積極的な発信、区民との交流活動等をおこなっています。今後とも母国ネパールと日本との橋渡しを続けてゆきたいと思っています。



わがまちの顔 なかの 陽子 ちゃん

マスターズ

陸上世界記録保持者

「かまにし17」二十九号で紹介しました中野陽子さんの近況についてご報告させていただきます。その後、活躍、記録の更新は続いています。二〇二五年十二月十四日(日)に開催されました第三十九回青島太平洋マラソン(七十歳以上女子部門)で六時間四分九秒年齢別(九十歳)で世界新記録を樹立しました。本人はゲストランニングとして招待され参加した結果の記録です。競技後も肉体的な支障は全く無くその後も通常の生活を営まれています。

若い頃から運動することが大好きで、社会人となって勤務した会社のスキー部のサークル活動がきっかけでスキーを始めました。その後、インストラクターの資格を取得、スキー歴は五十年になります。スキーで鍛えた身体能力はマラソンにも応用できて、走る経験が無かったにもかかわらず二年足らずの二〇〇五年七十一歳の時にホルルマラソンに挑戦し完走しました。又、同年第十九回青島太平洋マラソンに出場して七十一歳部門での優勝をしました。マラソンとの始まりはお母さんの



パンタさん

おおた区報(4/1発行)では「国際都市おおた大使が発見！ちようどいいまち、おおた」で登場しています。

Q 来日して何年になりますか？

A 私はネパールから来日して十四年目となり、大田区に家族で住み始めてからは六年目となります。

Q 来日の動機はなんですか？

A 日本のIT技術等を学びたく来日しました。母国で高校を卒業した後に来日して、まず日本語学校に入学して語学を学びました。卒業後には母国ネパールには帰国せず、引き続き日本で静岡産業大学に進学して情報学を学び卒業しました。

Q 現在の仕事はなんですか？

A IT関連並びに外国籍人材の定着支援業務をしています。更にボランティアとして外国籍人材の生活の質のサポートをしています。その傍ら国際都市おおた大使としても活動しており、大田区の魅力や情報、自国文化の積極的な発信、区民との交流活動等をおこなっています。今後とも母国ネパールと日本との橋渡しを続けてゆきたいと思っています。



東京マスターズ春季陸上競技会にて90歳以上800mで世界新記録を樹立

Q 日頃気を付けていることは？
A 毎日必ず七時間の睡眠をとること

介護をしながら、健康を兼ねての走りからでした。その後はプロのランニングトレーナーからもアドバイスを受けて、トレーニングを続けて、七十三歳で史上初百キロマラソンを完走しました。又、七十五〜七十九歳の部門では三千メートル、五千メートルで世界記録を更新し、スポーツグランプリ賞を受賞されました。八十七歳までは現役で仕事をされていきました。勤務先への通勤には大田区遠方にもかかわらず公共交通機関は一切使わず、トレーニングを兼ねて往復を徒歩で通いました。



競技中の中野さん

Q とと三度の食事(好き嫌いなし)

A 最近楽しかったことは？

A 妹と豪華客船に乗船、宿泊して神戸旅行をしたこと

Q 嬉しかったことは？

A 和歌山県でのスポーツグランプリ大会に招待を受け参加。完走後に美智子皇后よりお言葉をいただいたこと

Q 現在の目標は？

A 二〇二六年六月の大会で四百メートル走と三千メートル走種目の完走

Q インタビューの時も常に笑顔絶えず話す中野さんの、毎日を楽しんで過ごしている姿勢に感動と共感を覚えます。

「走っているときは嫌なことは全て忘れてしまいます。だから楽しいことをいっぱい考えながらゴールを目指して走り続けています。」とのコメントもいただきました。

これからお体に気をつけて活躍下さい。応援しています。

(取材 原澤・斉藤委員)

蒲田西特別出張所管内

人口	男	33,672人
	女	30,891人
	計	64,563人
世帯	39,280世帯	

令和8年5月1日現在

ウェブで「かまにし17」を検索すればカラー版を見られます！

Q お気に入りの場所はありますか？
A 週に一度家族で行く銭湯、子どもと遊ぶ「タイヤ公園」。憩いの大切な時間、大好きな場所です。また、池上本門寺の五重塔と多摩川の桜並木は、ネパールのニヤタボラ寺院や秋に咲く桜と重なりふるさとにいるような気持ちになります。

フェルナンダさん、パンタさんこれからも母国と大田区の架け橋として頑張ってください。

(取材 原澤委員)



ふれあいはずぬま全景

ふれあいはずぬま閉館

西蒲田三丁目に位置する「ふれあいはずぬま」は、この度、老朽化及び新規需要である学びの多様な学校へ建て替えるため、閉館し解体されることになりました。
この施設はこれまで、蓮沼小学校、ふれあいはずぬまとして、この地域で愛される施設として存立してきました。
今回、その歴史を振り返りたいと思います。



子どもガーデンパーティー
リズムカルな太鼓の音

【蒲田西地区活動利用】

小学校、ふれあいはずぬまの両時代を通して、このグラウンドを利用した活動・イベントが毎年行われました。

*子どもガーデンパーティー
グラウンドを使用して開催された子どもガーデンパーティーは子供たちが大変期待度の高い催しであり、沢山の人たちにぎわいました。

*かまにしふれあい運動会

青少年対主催で毎年十月頃に行われる運動会で、大人から、子供までたくさんの人たちにぎわいます。
玉入れ・リレー競走・パン食い競走等。秋の日差しの中、汗をかき一生懸命興じる姿は大変気持ちの良いものです。



運動会の玉入れ、周りの親御さんたちも応援しきりです

【西蒲田二・三丁目事業】

【防火防災関係】

ふれあいはずぬまは、西蒲田二・三丁目の災害時避難場所と位置づけられており、そのために防災活動拠点として永い間自治会と地域の方々の防災・避難訓練や話し合いを続けてきています。

解体に伴い、今後の避難場所は、ふれあいはずぬまの体育館と大森高校の一部をお借りすることになりました。また、一時避難所としての使用も困難となり、竹の子児童公園・蓮沼児童公園・蓮沼中学校とする予定です。
自治会が行ってきた防災訓練も今後の実施を検討中です。



蓮沼小学校開校記念塔

【蓮沼小学校】

蓮沼小学校は、昭和三十四年に西蒲田三丁目十九の一の閑静な住宅街に建設されました。この蓮沼小学校は、生徒の増加に対応して、元々は女塚小学校から分離新設された小学校でした。

近くには、蓮沼中学校・都立大森高等学校もあり、いわば学園都市とも言えます。

昭和三十六年（一九六一年）三月に第一期生が卒業しましたが、徐々に生徒数が減少したため、平成十七年（二〇〇五年）三月に廃校、女塚小学校と統合して、女塚小学校改称「大田区立おなづか小学校」へ引き継がれました。

蓮沼小学校は、実に約四十五年の歴史に幕を閉じ、廃校に至ったわけ

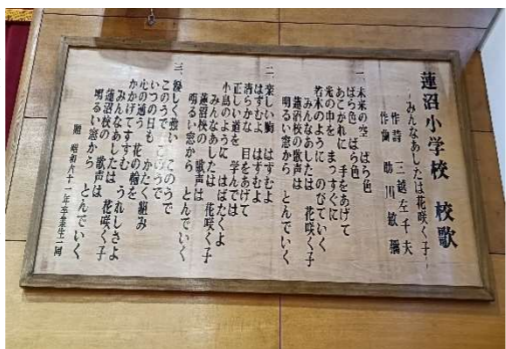
です。
当時は、地域でも非常に残念がって存続を願っていた方々もたくさんいたと聞きます。

【蓮沼ふれあい祭り】

西蒲田二・三丁目自治会が主催する地域のお祭りである「蓮沼ふれあい祭り」は、この施設を利用してきた各サークルの方々の積極的参加により、十五回を重ねて来ました。体育館・グラウンド・集會室を使用し、それぞれに色々工夫を凝らし大変な盛り上がりを見せました。



体育館で行われたフラダンスの風景



蓮沼小学校時代の校歌

【ふれあいはずぬま】

【区民活動の場ふれあいはずぬま】

大田区立蓮沼小学校廃校に伴い、その建物を利用した区民の活動の場として形を変え、ふれあいはずぬまが平成十九年四月に開設されました。
ふれあいはずぬまは、地域住民はもとより、各種会合、文化サークル活動、スポーツ活動に広く利用できる場となっております。

利用形態は、午前九時から午後十時まで使用可能で、抽選にて利用開放されています。

利用できる場所は、体育館・グラウンドと校舎棟では、和室・第一から第五集會室の六室があり、それぞれの利便性に合わせて活用されています。

また、公益社団法人大田区シルバール人材センター・非営利活動法人樹林館・社会福祉法人大田幸陽会「さわやかワークセンター」わかばの家



鈴木区長にもお会いいただきました

【ふれあいはずぬま閉館】

平成十九年四月に開設されて以来、二十年の間地元で愛されてきた「ふれあいはずぬま」も閉館の時が近づいてきました。

今年下半期頃には校舎棟の解体作業が開始されるため、ふれあいはずぬまの利用は令和八年九月までとなり、以後廃止されます。

ただし、体育館については令和八年七月から令和九年一月までの間、利用は一時停止となるものの、以後使用は再開される予定です。（体育館は令和十二年度頃まで存続予定です。）

グラウンドは、令和八年六月までの利用となります。

この跡地には、新たに令和十三年度に「仮称 大田区立みらい学園」が誕生する予定となっております。

（取材 平塚委員）

が当施設に入居してしました。
シルバール人材センターはこの三月、樹林館は昨年十一月に移転しました。

また、さわやかワークセンターとわかばの家は同敷地内に新設された複合施設へ令和六年に移転をいたしました。

「利用する団体・サークル」

利用団体・サークルは列挙にいとまがありません。
体育館では、バスケットボール・バトミントン・フットサル・卓球・バレーボール等。
グラウンドでは、ソフトボール・サッカー等。
和室・集會室では、健康体操・ヨガ・英会話・日本語教室・茶話会・茶道教室・ハワイアンダンス・社交ダンス・映画観賞会等。



身体の機能を楽にする
カキラ体操教室